

## 定峰 200 試走レポート

試走スタート日時：2018/3/18(日) 4:00am

主な注意：

1. 往路復路共に、R20「みのわ通り入口」から栢島市内までは車が多く、特に復路の夕方から夜の時間帯はラッシュとも重なるので、注意。
2. 当日の気象状況によっては、朝夕または山間部は冷え込みます。3月下旬に稀に大雪が降ることもあり、事前の気象状況及び当日の予報を良く確認願います。また、逆に日中はこの時期は20℃以上になることもあり、寒暖の対応ができる装備を推奨します。
3. PC1は混雑します。また、トイレは1つしかありません。トイレ渋滞が発生することが多いので、事前にコンビニでトイレと買物を済ませておくことをお勧めします。PC1の先にはコンビニがしばらくありません。
4. 定峰峠からの下りで、3/18現在で片側交互通行がありました。下りで見通しが効きにくいところもあるので、工事看板など前方を注意してください。全般的にこのコースの山岳部はどこかで片側交互などの規制が良くあります。
5. 和紙の里では多くの観光客でにぎわい、また駐車場を横断することになるので駐車場入りでの接触事故等十分注意ください。
6. K30日高の手前、南平沢交差点までは午後は渋滞が発生します。路肩も狭いので注意ください。

試走状況：

普段はGPSを主に使用しているので、慣れないQシートを見ながら試走を行いました。スタートから青梅市内まで、多摩川沿いの信号少ないルートはある程度アベレージを稼げます。自分の試走時は早朝だったため、甲州街道から先も車は少なく快調にPC1まで到達しました。ただし、向風基調だったため、タイムはPC1時点では過去のブルベと比較し遅めでした。

当日は気温が低く、山伏の山麓で0度程。ただし日中は気温が上がりそうだったので、薄手のシュエカバー、薄手のグローブの上にモンベルのグローブカバー、薄手のイヤーカーバーと、ジレ代わりにPBP反射ベストで臨みました。ウェアは暖かい日の冬用。気温があがったら、薄手のカバー類は丸めてツール缶に入れられるので、装備も増えないので便利です。厚手の上着などは防寒は良いのですが、かさばる為になるべくコンパクトになる防寒装備をチョイスしました。

最初の山王峠をウォームアップ兼ねて登り、寒さに負けないよう、ある程度パワーをかけてそのまま山伏もこなします。頂上で写真撮ると冷えてしまうので、そのまま秩父市内へ。ルート沿いにあるお肉屋さんのひつじ屋のシャッターが丁度あいたので、店主に声をかけたのですが、まだ開店前ということでそのまま PC2 へ。過去2回は、ちんばたさんでの豚丼、雅紀屋さんでのお蕎麦とカツのセットをいただきました。ちんばたさんは若干コースから外れますが、豚丼は絶品です。11 時開店なので脚があるかたは開店目指していくと並ばないで入れるでしょう。

今回定峰峠は一部迂回路だったのですが、予定では当日までに開通するようです。万一迂回路になっても、路面も景色もきれいで特に問題はありませんでした。勾配が若干増しますので、坂が苦手な方にとっては、迂回路は少しきついかもかもしれません。

定峰の下りは、一部路面状況が荒れている所があるので、良く路面を確認し安全な速度で通過してください。快調に下ると和紙の里です。うどん屋さんのかき揚げが美味しそうでした。私はお腹が空いていなかったの、うどん屋さんで販売しているお団子をいただきました。その先の松郷峠手前は例年桃の花がとてもきれいです。お楽しみください。

小さな松郷峠を越えると、おもな峠は終わりです。ただし K30 は若干のアップダウンと交通量が多いところがあり、油断は禁物です。私の場合はまだ午前中だったので交通量も少なくスムーズでした。飯能周辺のアップダウンを超えて最終 PC を超えると、アップダウンもほぼ無くなります。このあたりで日没を迎える方も多いのではないのでしょうか。疲れると寒さにより弱くなりますので、防寒対策しっかりとしましょう。私の時はこのあたりでようやく気温が 10℃を超えてきて少し冬ウェアでも暑さを感じてきた位でした。

その後は基本往路とどのようなコースをトレースします。ここで時間が少なくなっても、多摩川沿いの道は割とグロスアベレージが稼げるので、安全第一で最後まで走行してください。PC 以外寄り道していなかったの、最後の最後に調布の、「焼きたて工房 Flanders」というパン屋さんに寄り道しました。

写真はあまり撮らなかったのですが、途中で撮影したものを以下に共有しておきます：  
<https://photos.app.goo.gl/mXadAoAE81w3J1jv1>

Hide